

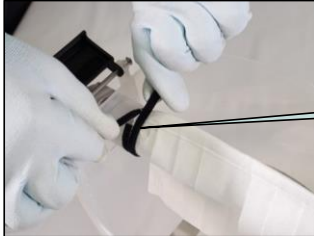
水すましAT-IV型－80，110（小径用）

ご使用前に必ず読んで下さい



循環水となる清水はタンク内側のリブまでの給水、補水としてください。

フィルター受け板以上入れますと、フィルターが水の中に入りろ過速度が低下します。

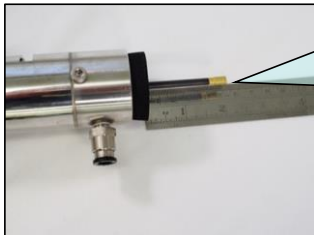


フィルターはマジックテープでタンク内センターパイプホルダーにしっかりと巻き付け固定してください。



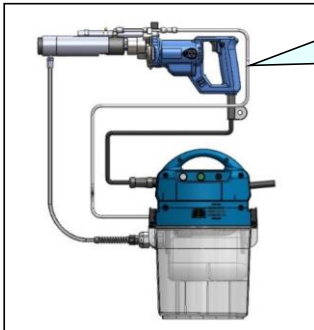
作業前にポンプスイッチを入れダイヤモンドの刃先から水が十分出るか確認して作業を開始してください。

出ない場合はポンプスイッチを“OFF”にした状態で、ドリル側逆止弁付継手から給水ホースを外して注射器を差込み、水を吸い上げてください。



軸の深さ調整バンドで穿孔深さを設定して下さい。

穿孔深さにあわせてビットを突出しクリップバンドで仮止めしてください。深さ調整バンドで位置決めした後、クリップバンドを元の位置に戻してください。穿孔深さはビットの摩耗分を考慮して約5mmほど長く設定してください。



ドリルと循環装置をつないでいるホースが循環装置より大きく下がった状態での穿孔は避けてください。

ホース内の汚泥詰まりによりバキュームポンプの負荷が大きくなり寿命が短くなります。

穿孔終了後、次の穿孔に移る際はバキュームポンプの稼働終了後、約3秒程度の間隔をおいてください。

バキュームポンプが連続稼働状態になり、寿命が短くなる原因になります。



ドリルに給水ホースを取付けてください。

ドリル上部のポリカパイプφ6+逆止弁付継手に、給水ホースφ6を接続してください。

ビットを外さなければグリップパイプは外せません。

消耗品の交換

(循環装置の主電源、コンセントを抜いて下記の作業を行ってください。)



1. ダイヤビット

グリップパイプのすき間にスパナを差してシャンクの回転を固定し、ビットをプライヤーで反時計方向に回して外してください。

(ダイヤモンドのコア排出口まで摩耗したら早めに交換してください。)

(新品ダイヤモンドの取り付けは指で締め付ける程度でOKです。)



2. フィルター

循環装置のトップケースを取り外し、センターパイプの固定をゆるめてセンターパイプをある程度引き抜いてください。そのあとフィルターのマジックテープを剥がし循環水を汚さないように取り外してください。

(フィルターの交換目安は排水ホースの水の吸引の勢いが弱くなってきたら交換してください、φ5-80mmで約80穴)

(フィルターの洗浄後再利用は故障の原因になります。)



3. ゴムブッシュ

グリップパイプを外し、ブッシュ固定ねじを六角レンチで緩めた状態で、ブッシュ外しパイプを使い、内側からブッシュを押してください。ゴムブッシュ、金属ブッシュを取り替えてください。

(ゴムブッシュ・金属ブッシュは、シャンク径に合ったものをご使用ください。)

新しいゴムブッシュを金属ブッシュに巻き付け、外れないことを確認してから取り付けてください。



4. シャンク

シャンクと注水ボディにスパナをかけて、シャンクをビット側から見て反時計方向に回して外してください。

(ダイヤモンドの取付け部のネジの摩耗、軸の曲がり、コンクリートのノロの詰まりが確認できたら交換してください。)



5. バキュームポンプとギヤポンプの交換

吸引が悪くなったらバキュームポンプを交換してください。給水を強にしても水の吐出が弱くなったらギヤポンプを交換してください。

循環装置のトップケースを取り外し、側面黒ボタンを押してアンダーケースを開きます。トップケースと配線がつながっています。注意して開いてください。

(詳しい交換手順は取り扱い説明書に記載しています。)



6. 注水ボディ

注水ボディは消耗品です。1000穴を目安に交換してください。

(寿命になりますと水漏れします。)

作業後の清掃、その他

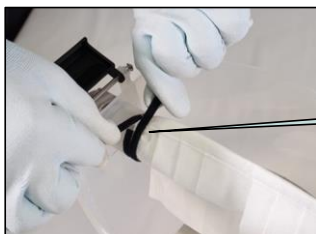
- 1 穴あけ作業が終了しましたら、タンクの水をきれいな水に交換して、グリップパイプ先端のゴムパットを壁か当て板に当て、ドリルの電源をOFFのままポンプとバキュームのスイッチを入れ、ホース内、センターパイプ内の循環清掃を15~20秒程度おこなってください。
- 2 使用済みろ過フィルターは廃棄し、新しいろ過フィルターを使用前に取り付けるようにしてください。
- 3 給排水ホースは一旦外して折れ癖の付かないような持ち運び、保管をしてください。
- 4 ブッシュは、外して保管してください。錆びて外れなくなることがあります。

水すましAT-IV型-110（アンカー用）

ご使用前に必ず読んで下さい



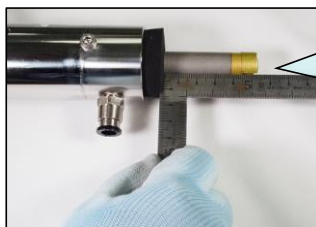
循環水となる清水はタンク内側のリブまでの給水、補水としてください。
フィルター受け板以上入れますと、フィルターが水の中に入り過速度が低下します。



フィルターはマジックテープでタンク内センターパイプホルダーにしっかりと巻き付け、固定してください。

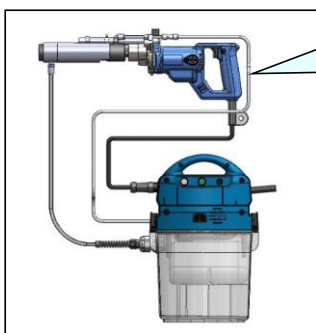


作業前にポンプスイッチを入れダイヤビットの刃先から水が十分出るか確認して作業を開始してください。
出ない場合はポンプスイッチを“OFF”にした状態で、ドリル側逆止弁付継手から給水ホースを外して注射器を差込み、水を吸い上げてください。



軸の深さ調整バンドで穿孔深さを設定して下さい。
穿孔深さにあわせてビットを突出しクリップバンドで仮止めしてください。深さ調整バンドで位置決めした後、クリップバンドを元の位置に戻してください。穿孔深さはビットの摩耗分を考慮して約5mmほど長く設定してください。

小径用は、コアが出ませんが、アンカー用は、コアが出ますので穿孔後ビット内よりコアを取り出してください。
（コアとはビットの中に残るコンクリートの固まりのこと。）



ドリルと循環装置をつないでいるホースが循環装置より大きく下がった状態での穿孔は避けてください。
ホース内の汚泥詰まりによりバキュームポンプの負荷が大きくなり寿命が短くなります。

穿孔終了後、次の穿孔に移る際はバキュームポンプの稼働終了後、約3秒程度の間隔をおいてください。
バキュームポンプが連続稼働状態になり、寿命が短くなる原因になります。



ドリルに給水ホースを取付けてください。
ドリル上部のポリカパイプφ6+逆止弁付継手に、給水ホースφ6を接続してください。

ビットを外さなければグリップパイプは外せません。

消耗品の交換

(循環装置の主電源、コンセントを抜いて下記の作業を行ってください。)



1. ダイヤビット

グリップパイプのすき間にスパナを差してシャンクの回転を固定し、ビットをプライヤーで反時計方向に回して外してください。

(ダイヤモンドのコア排出口まで摩耗したら早めに交換してください。)

(新品ダイヤモンドの取り付けは指で締め付ける程度でOKです。)



2. フィルター

循環装置のトップケースを取り外し、センターパイプの固定をゆるめてセンターパイプをある程度引き抜いてください。そのあとフィルターのマジックテープを剥がし循環水を汚さないように取り外してください。

(フィルターの交換目安は排水ホースの水の吸引の勢いが弱くなってきたら交換してください、φ5-80mmで約80穴)

(フィルターの洗浄後再利用は故障の原因になります。)



3. ゴムブッシュ

グリップパイプを外し、ブッシュ固定ねじを六角レンチで緩めた状態で、ブッシュ外しパイプを使い、内側からブッシュを押してください。ゴムブッシュ、金属ブッシュを取り替えてください。

(ゴムブッシュ・金属ブッシュは、シャンク径に合ったものをご使用ください。)

新しいゴムブッシュを金属ブッシュに巻き付け、外れないことを確認してから取り付けてください。



4. シャンク

シャンクと注水ボディにスパナをかけて、シャンクをビット側から見て反時計方向に回して外してください。

(ダイヤモンドの取付け部のネジの摩耗、軸の曲がり、コンクリートのノロの詰まりが確認できたら交換してください)

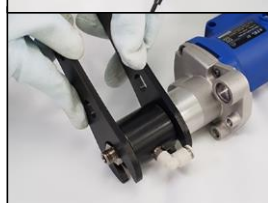


5. バキュームポンプとギヤポンプの交換

吸引が悪くなったらバキュームポンプを交換してください。給水を強にしても水の吐出が弱くなったらギヤポンプを交換してください。

循環装置のトップケースを取り外し、側面黒ボタンを押してアンダーケースを開きます。トップケースと配線がつながっています。注意して開いてください。

(詳しい交換手順は取り扱い説明書に記載しています。)



6. 注水ボディ

注水ボディは消耗品です。1000穴を目安に交換してください。

(寿命になりますと水漏れします。)

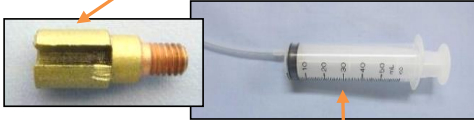
作業後の清掃、その他

- 1 穴あけ作業が終了しましたら、タンクの水をきれいな水に交換して、グリップパイプ先端のゴムパットを壁か当て板に当て、ドリルの電源をOFFのままポンプとバキュームのスイッチを入れ、ホース内、センターパイプ内の循環清掃を15~20秒程度おこなってください。
- 2 使用済みろ過フィルターは廃棄し、新しいろ過フィルターを使用前に取り付けるようにしてください。
- 3 給排水ホースは一旦外して折れ癖の付かないような持ち運び、保管をしてください。
- 4 ブッシュは、外して保管してください。錆びて外れなくなることがあります。

おかしいな？ と思ったら

1. 使用途中に水が出なくなった

ダイヤモンドの刃先に切粉やカケラなどが詰まっていますか？
詰っていたら取り除いてください。



上記3点を確認しても出ない場合は、ポンプスイッチを“OFF”にした状態で、ドリル側逆止弁付継手から給水ホースを外して注射器を差込み、水を吸い上げてください。

ギヤポンプの寿命で止まっていますか？

タンクの水が極端に少なくなっていますか？

タンク内の吸引ホースがまっすぐ下まで届いていますか？

2. グリップパイプ内に水が漏れてくる

循環装置の本体より低い位置で穿孔していませんか？
本体より低い位置では吸引が弱くなります。

グリップパイプをしっかり押していますか？
吸引が弱くなりますので3cm切り込むまでしっかり押してください。

ブッシュが付いていますか？
摩耗で穴径が大きくなりシャンクがブレていませんか？
ブッシュが摩耗していたら交換してください。

逆止弁付継手が壊れていませんか？
交換してください。

ホースが折れていませんか？
しっかり取り付いていますか？
ホースの折れを直してしっかり取付けてください。

センターパイプが詰まっていますか？
ご使用後は必ず掃除をしてください。

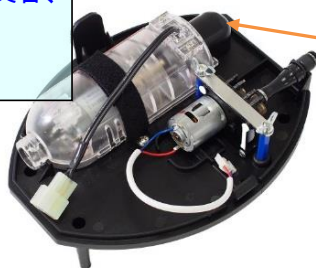
フィルターの寿命（容量オーバー）で吸引出来なくなっていますか？

バキュームポンプが寿命で止まっていますか？

3. バキュームポンプが止まった

バキュームポンプの寿命を知らせる異音、異臭が発生していませんか？
新しいものに交換してください。

バキュームポンプが接続部から外れていませんか？



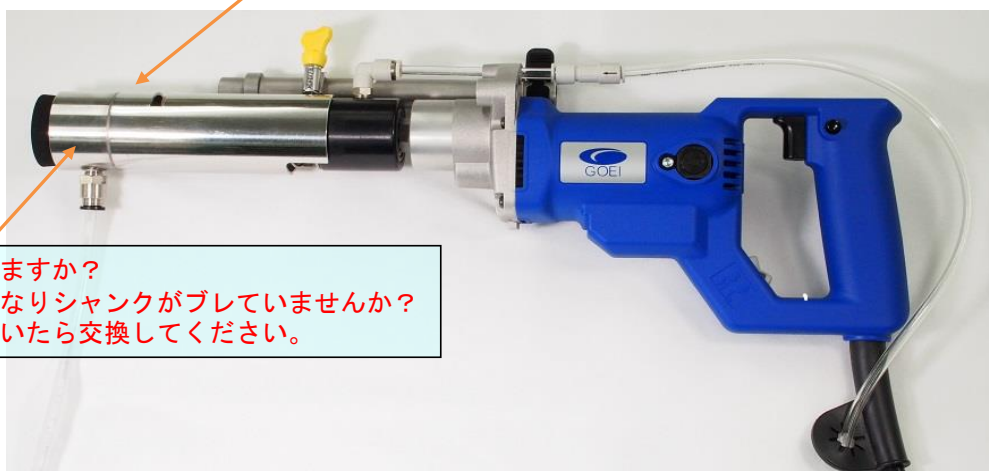
4. ダイヤビットが切れない、ブれる

ダイヤモンドの刃先に切粉やカケラなどが詰まっていますか？
詰っていたら取り除いてください。



電源は足りていますか？
電源は単独でご使用ください。
延長コードは出来るだけご使用にならないでください。

グリップパイプをしっかり持って作業されていますか？
切り始めはしっかり持って作業してください。



ブッシュが付いていますか？
摩耗で穴径が大きくなりシャンクがブれていませんか？
ブッシュが摩耗していたら交換してください。

電源は足りていますか？
電源は単独でご使用ください。
延長コードは出来るだけご使用にならないでください。